

保健だより

せっけんで手をあらおう!

今日の保健目標は、「手洗い・うがいをしよう!」です。

相馬市や南相馬市でもインフルエンザの報告ができたようです。相馬支援学校では、まだ、インフルエンザにかかった人はいませんが、寒くなってきて、体調をくずしている人はふえてきました。

かぜやインフルエンザなどの感染症の予防で、いちばんたいせつなのは手洗いをしっかりすることです。

みなさんも、正しい手の洗い方をマスターして、かぜやインフルエンザに負けないようにしてください。

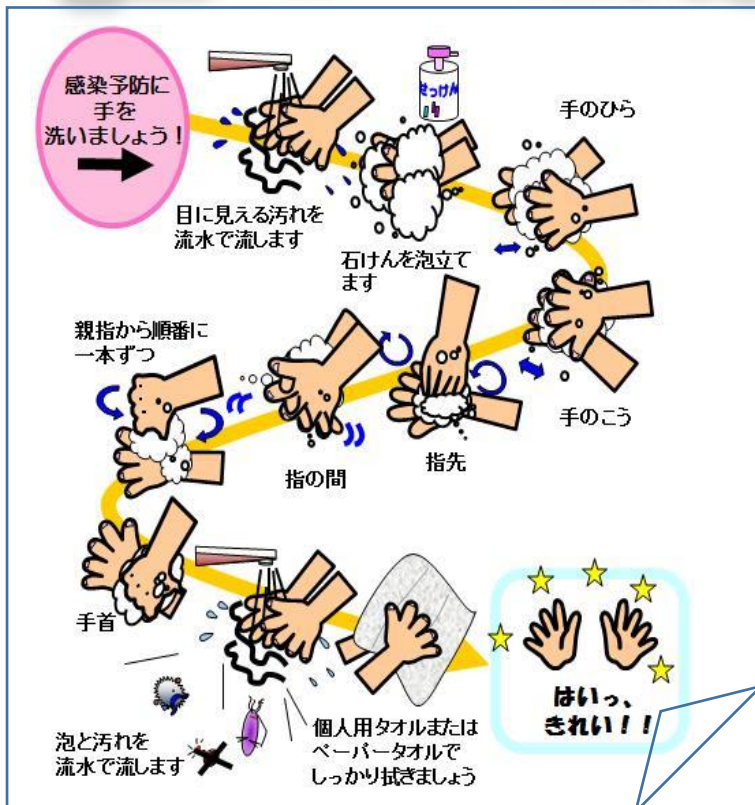
平成30年12月1日
相馬支援学校保健室
NO9

インフルエンザの 予防接種は はやめに 受けよう



これから予防接種を受ける予定の方は、12月中に受けられることをおすすめします。

手洗い名人になろう!!



手を洗ったあとは清潔なハンカチでふこう



まさか、服でふいている人はいませんよね…。ハンカチは、洗たくしたきれいなものに、毎日、交かんしてください。

12月1日は「世界エイズデー」

WHO（世界保健機関）は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者、感染者に対する差別、偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を『世界エイズデー』と決めました。

毎年、キャンペーンテーマが決められていて、今年のテーマは、「UPDATE！エイズ治療のこと HIV検査のこと」になっています。

エイズデーは、私たちの心にある差別や偏見をなくし、みんな仲良く、共に生きていこうと考える日にしたいですね。「私には関係ない」と思わないで、新聞やテレビのニュースに関心をもってください。

平成30年度「世界エイズデー」のキャンペーンテーマ

UPDATE！エイズ治療のこと HIV検査のこと

HIV／エイズに関する取り組みは、大きな転換期となっています。HIVに感染してもいち早く治療を開始すれば、エイズの発症を防ぎ、また体内のウイルス量が減少するために、他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。つまりHIVに感染しても、感染していない人と同等の生活が期待できるようになりました。



けれどそうした変化が、正確な情報として十分に伝わっているとは言えません。いまだ「治療法がなく」「死に至る」病気だという認識の人もあります。進歩するエイズ治療の現在とHIV検査の重要性を伝えるには、知識のUPDATE（更新）が必要です。それがHIV検査のいち早い受検につながり、エイズの蔓延を防ぎます。



HIV感染は予防できる！

HIVは「血液」「精液、膣分泌液」「感染者の母乳」にしか存在しない。= **日常生活では感染しない。**

OK



握手

OK



食事

OK



プールやお風呂

OK



ハグや
軽いキス

HIV・エイズに関する数字

世界では現在3670万人がHIVとともに生きている。(2016年)

世界のHIV感染者数の推移



日本では今までに約27000人がHIVに感染またはエイズと診断されている。(2016年累計)

今までに3500万人がエイズに関連する病気で死亡した。

日本では毎年1000人ずつHIV感染者が増えている。